



日本とカナダの ナチュラル・パートナー

フランク・デ・ロジエ

(Frank Des Rosiers)

戦略的政策およびイノベーション副次官補

(Assistant Deputy Minister
Strategic Policy and Innovation)

2023年7月



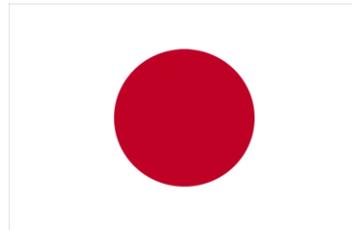
Natural Resources
Canada

Ressources naturelles
Canada

Canada

ナチュラル・パートナー

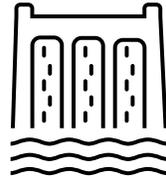
- ・ カナダと日本には、緊密な協力関係と共通の価値観を共有してきた長年の歴史がある。
- ・ アジアからの互恵的対外直接投資の最大出資国
- ・ 協力関係は以下を焦点とする包括的かつ戦略的なパートナーシップである:
 - ・ 経済的繁栄の促進
 - ・ 気候変動・環境対策
 - ・ エネルギー安全保障の支援
- ・ 天然資源およびエネルギーは、これらの目標を達成する鍵である。カナダのインド太平洋戦略はこの事実根拠に根差している。



豊富な天然資源

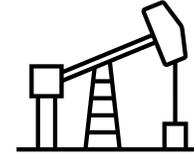
水力

- 世界3位の水力発電国
- 全世界の発電の9%



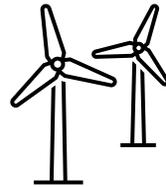
天然ガス

- 世界4位の生産国
- 世界輸出の6%
- 輸出向け生産の45%



再生可能エネルギー

- 世界9位の風力発電量
- 世界8位の液体バイオ燃料



原油

- 世界4位の生産国
- 世界3位の実質埋蔵量
- 世界輸出の8%



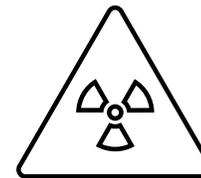
重要鉱物

- 太陽光発電、電気自動車、バッテリーに必要とされる鉱物や金属（ニッケル、コバルト、銅、リチウム等）の主要生産国



原子力

- 世界2位のウラン生産国
- 世界6位の原子力発電
- ティア1の原子力国



カナダは、エネルギーと鉱物資源の信頼できる供給国である

地政学的文脈

- 地政学的文脈では、政府とビジネスリーダーにとってエネルギーと鉱物資源の安全保障が最優先事項となっている。
 - エネルギーと鉱物資源の信頼できるサプライヤを確保する必要性
 - 脱炭素目標の達成に向けた行動を追求する必要性
- カナダは日本や味方との関係を強化することを。

地政学的危機



エネルギーと
鉱物資源の安
全保障

気候変動



カナダの競争優位性

カナダの資源セクターは以下のような強力な立場からのスタートとなります

- 豊富な天然資源
- イノベーション
- 熟練労働者
- クリーンパワー
- 市場へのアクセス
- 貿易協定
- 競争力の高い税制
- 輸送回廊

集中的な方針

- クリーンエネルギー・脱炭酸プロジェクトと革新的なテクノロジーを支える方針

戦略的な融資

- 民間資本を誘致・主要テクノロジーを加速するために革新的な融資及び投資ツール

投資税控除

- 還付可能な投資税控除:
 - クリーン水素
 - CCUS
 - クリーン電力
 - クリーンテック・クリーンテック製造

カーボンプライシング グ・規制の枠組み

- 温室効果ガス排出量の削減とイノベーションに対する価格インセンティブを確保します。特定の活動や製品の炭素（カーボン）削減が必要。

米国のインフレ削減法に応じ、カナダは2023年予算案にいくつかの方策を導入した。



カナダの投資税控除

2023年予算案

- 一連の明確で予測可能な投資税控除
- 低コストの戦略的融資
- 目標を定めた投資と計画



クリーン水素投資税控除

- 条件を満たすプロジェクト費の15～40%還付税控除
(装置は15%控除)



クリーンテック投資税控除

- 30%還付税控除



CCUS投資税控除

- 37.5～60%還付投資税控除



脱炭素技術メーカー対象の減税率

- 法人税率の引き下げ (7.5%および4.5%)



クリーン発電投資税控除

- 15%還付税控除



クリーンテック製造投資税控除

- 30%還付税控除

2023年予算案の投資税控除は10年間で600億ドルとなる。

他の施策:

- カナダ・インフラ銀行
- Canada Growth Fund
- 戦略的イノベーション基金
- クリーン燃料基金
- ナショナル・サプライチェーン戦略
- Canada Innovation Corporationを通じたビジネスイノベーションおよび研究
- 差金決済取引

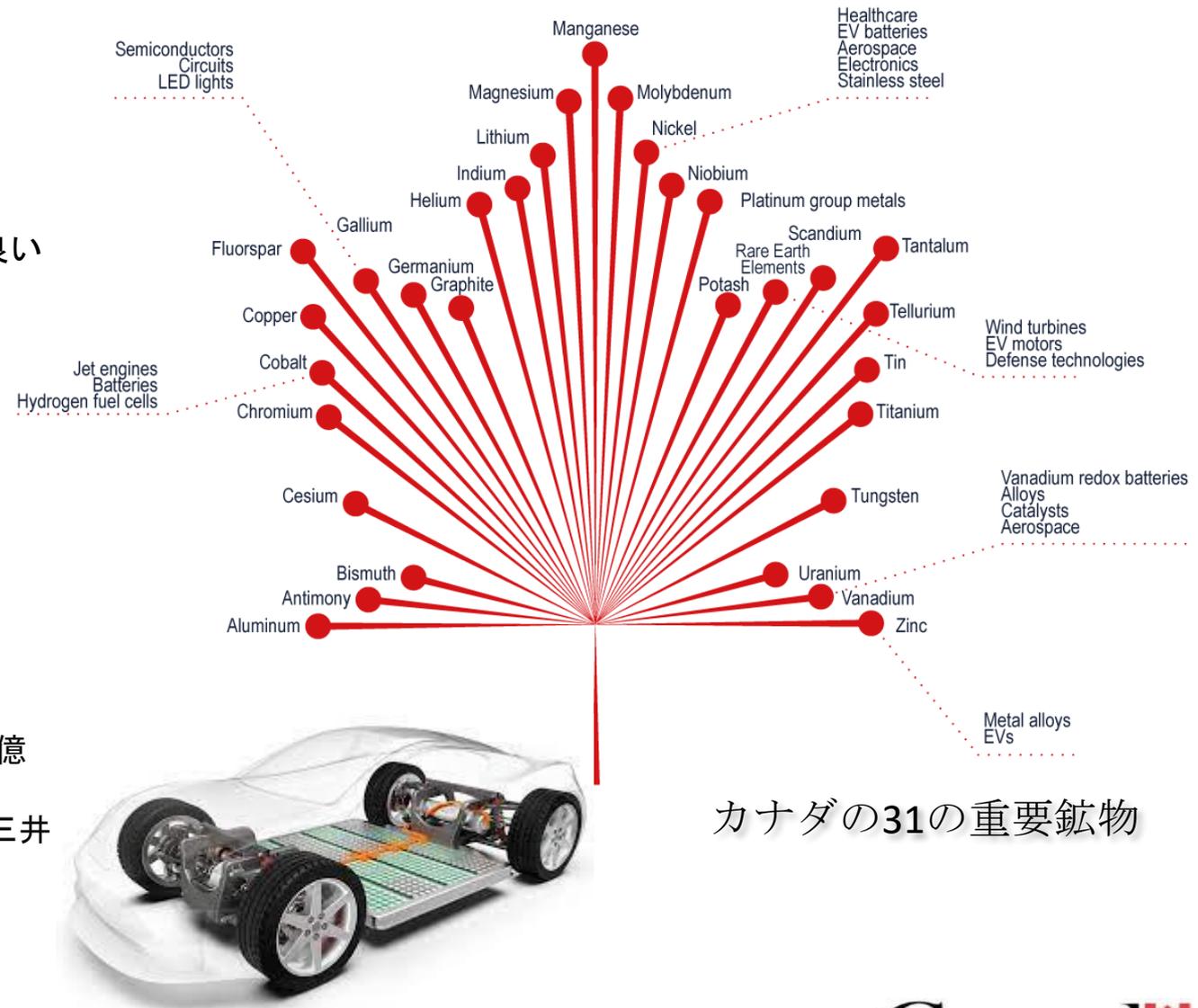
重要鉱物 / バッテリー

戦略

- 2022年12月にカナダは重要鉱物戦略が発表した。
 - ニッケル、コバルト、銅、リチウム等を優先
- カナダはバッテリーのサプライチェーンの全区分を主導する良い位置を占めている

バッテリーに重要なプロジェクト

- PowerCo (VW) : 電気自動車 (EV) 用バッテリー (70億ドル)
- ステランティス : 電気自動車 (EV) (50億ドル)
- フォード・カナダ : 電気自動車 (EV) (18億ドル)
- ユミコア : 正極活物質と前駆的化学品 (15億ドル)
- GMカナダ : 電気自動車 (EV) (10億ドル)
- BASF : 正極活物質
- POSCO/GM : 正極活物質 (5億ドル)
- ベイル : 北アメリカの初硫酸ニッケルプロジェクト
- ライオン・エレクトリック : 電気バス用バッテリーパック (1億8500万ドル)
- ニューボー・モンド・グラファイトはパナソニック エナジーと三井との間でオフテイクおよびパートナーシップ契約を締結 (2022)



カナダの31の重要鉱物



水素 / アンモニア

戦略

- 水素は世界のエネルギーシステムの脱炭素化における重要な柱
 - カナダは世界第4位の水素生産国
 - 革新的な水素および燃料セル技術のリーダー（研究開発）。
- 2020年に始動した国家水素戦略
- アジア市場への輸出の利点：
 - 豊富かつ安価な天然ガス資源
 - CCUSに適する地質
 - 西海岸からアジアへの短時間の配送経路
 - クリーンな電気
 - イノベーション
 - 熟練労働者
- 複数のパートナーへの機会提供（生産/利用）

プロジェクト

- 西海岸と東海岸で数件の数十億ドル規模のプロジェクトが進行中（290億ドル）
- 2023年後半までに水素炎イオン化型検出器（FID）の開発（アジア/ヨーロッパへの輸出）
- **伊藤忠、ジェンタリ、インター・パイプライン**は2027年までにブルーアンモニアの製造販売を計画（16億ドル）
- **シェルと三菱**の低炭素水素の生産に関する基本合意（MOU）（10億ドル）
- **ATCOと関西電力**のカナダと日本との間のブルー水素サプライチェーンに関する協力（2027）
- **ハイドロゲン・カナダ**の日本への水素輸出計画（10億ドル）
- **ノザーン・ペトロケミカル**の2026年までの日本への水素輸出計画（25億ドル）



石油および天然ガス



LNGカナダーフェーズ1、ブリティッシュコロンビア州キティマット（80%完了）

戦略

- カナダは2025年までにアジア向けのLNGを輸出する予定

プロジェクト

- LNGカナダ
 - フェーズ1（80%完了、2025年のスタートアップ（14MT）
 - 三菱 - 15%出資
 - フェーズ2 検討中（14MTの追加）
- ウッドファイバーLNG：2027年のスタートアップ（2.1 MT）
- セダーLNG：建設前のフェーズ（3 MT）

トランス・マウンテン・エクスパンジョン（TMX）

- カナダのパイプラインインフラを延長し、原油輸出を増量（890k b/d）
- 完了後、アジアで市場多様化を実施。

原子力



オンタリオ・パワー・ジェネレーション
SMRプロジェクト（オンタリオ州ダーリン
トン） - 2028年までに操業開始予定

戦略

- カナダはティア1の原子力国
- 世界2位のウラン生産国, 世界最大のウラン輸出国
- カナダ天然資源省と経済産業省は”加-日エネルギー政策対話”(CJEPD)の作業グループ通して緊密に協力し、原子作業グループはその一つ。

プロジェクト

- **オンタリオ・パワー・ジェネレーション**のSMRプロジェクト（ダーリン
トン）
 - 北米初のSMR、2028年までに操業開始予定
 - 300 MW
- **GE日立ニュークリア・エネルギー**がオンタリオ・パワー・ジェネレーショ
ンと協力してSMRを展開
- 数十億ドル規模の数件のプロジェクトを始めとするプロジェクトが進行
中

ナチュラル・パートナーとして：共に多くのことが成し遂げられます！



ありがとうございます

フランク・デ・ロジエ
(Frank Des Rosiers)

戦略的政策およびイノベーション
副次官補
カナダ天然資源省



Natural Resources
Canada

Ressources naturelles
Canada

Canada